



SoftBank CUP 2023 (東京大会)

バスケットボール男子日本代表国際強化試合

8月15日(火) TIPOFF 予定 19:00 ▶

8月17日(木) TIPOFF 予定 19:00 ▶

8月19日(土) TIPOFF 予定 15:00

有明アリーナ
(東京都江東区)

● 日本代表 VS アンゴラ代表 
(FIBA ランキング 36位) (FIBA ランキング 41位)

● 日本代表 VS フランス代表 
(FIBA ランキング 36位) (FIBA ランキング 8位)

● 日本代表 VS スロベニア代表 
(FIBA ランキング 36位) (FIBA ランキング 7位)

主催：公益財団法人日本バスケットボール協会
主管：公益財団法人日本バスケットボール協会
協力：一般社団法人東京都バスケットボール協会



AKATSUKI JAPAN



OFFICIAL PROGRAM



FIBA バスケットボール ワールドカップ 2023



VS



VS

8.25 TIPOFF 予定
21:10
(金)

8.27 TIPOFF 予定
21:10
(日)

日本代表戦2試合
LIVE・見逃し配信決定!



ソフトバンク・ワイモバイルの
スマホユーザー、
Yahoo!プレミアム会員なら

追加料金0円!

※LINEMOは対象外です。

詳しくはこちら!

SoftBank CUP 2023 (東京大会) バスケットボール男子日本代表国際強化試合

【8月15日】

男子日本代表 vs 男子アンゴラ代表

15:00頃	場外ブース オープン
17:30頃	開場・場内ブース オープン
18:32頃	選手入場
18:55頃	AKATSUKI VENUS オープニングパフォーマンス
}	選手紹介
	スターティング5紹介
19:00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS ハーフタイムパフォーマンス
20:00頃	場外ブース クローズ
21:00頃	試合終了・場内ブース クローズ ※試合終了後30分は営業

※暴風時は、場外ブースを実施しない場合がございます。
※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

SoftBank CUP 2023 (東京大会) バスケットボール男子日本代表国際強化試合

【8月17日】

男子日本代表 vs 男子フランス代表

15:00頃	場外ブース オープン
17:30頃	開場・場内ブース オープン
18:30頃	選手入場
18:53頃	AKATSUKI VENUS オープニングパフォーマンス
}	選手紹介
	スターティング5紹介
19:00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS ハーフタイムパフォーマンス
20:00頃	場外ブース クローズ
21:00頃	試合終了・場内ブース クローズ ※試合終了後30分は営業

※暴風時は、場外ブースを実施しない場合がございます。
※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

SoftBank CUP 2023 (東京大会) バスケットボール男子日本代表国際強化試合

【8月19日】

男子日本代表 vs 男子スロベニア代表

11:00頃	場外ブース オープン
13:30頃	開場・場内ブース オープン
14:25頃	選手入場
14:48頃	AKATSUKI VENUS オープニングパフォーマンス
}	選手紹介
	スターティング5紹介
15:00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS ハーフタイムパフォーマンス
17:00頃	試合終了・場内ブース クローズ ※試合終了後30分は営業
試合終了後	壮行会
17:30頃	場外ブース クローズ ※試合終了後60分は営業

※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

バスケットボール男子国際試合 2023 東京大会

【8月20日】

男子フランス代表 vs 男子オーストラリア代表

10:00頃	場外ブース オープン
11:30頃	開場・場内ブース オープン
12:22頃	選手入場
12:45頃	TBA
12:48頃	選手紹介
12:59頃	スターティング5紹介
13:00頃	TIP OFF
15:00頃	試合終了・場内ブース クローズ
15:30頃	場外ブース クローズ

※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

オールバスケットで、 日本を元気に。



バスケットは、ひとの心を動かしつつづける。

ボールと身体が、コートと織りなすリズムに、
共鳴する選手の鼓動。

一人ひとりの個性が生む、多彩なプレーに、
ひき込まれていく観客。

ときには100点をこえる、絶え間ない攻防戦に、
固唾をのむ全国のファン。

バスケットによる心の弾みは、
日本中をつなげて、元気にしていく。
私たちは、このつながりを未来まで支えていきます。

さあ、バスケットをはじめよう。

ALL BASKETBALL
ACTION

Play, Support. さあ、支えることを始めよう。



日本生命

渡邊 雄太

Yuta WATANABE

日本のエースは チーム内の厳しい競争を大歓迎

「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」に

向けた強化を進める男子日本代表。

自国開催のワールドカップに闘志を燃やす

渡邊雄太がコートに立つ日が来た。

「SoftBank CUP 2023 (東京大会)」

バスケットボール男子日本代表国際強化試合」に臨む

渡邊雄太に今の思いを聞いた。



ストロングポイントと言えるように 3Pシュートは磨きたい

—7月末にチームに合流。コンディション等の状態は上がってきていますか？

渡邊 合流してから実際に練習した回数もまだ多くはないので、コンディションやプレーなどを含めて今は70%ぐらいです。国際強化試合を通して100%近くに持っていかねばと思っていますし、ここまでは順調にきています。

—ニュージーランドとの国際強化試合(8月2、4日開催)はベンチからの観戦でした。

渡邊 見ていて面白かったです。2試合目はニュージーランドのプレッシャーに負けた感はありましたが、すごくいい試合でした。あと足りないところは、それこそ僕やジョシュ・ホーキンソン(サンロッキーズ渋谷)で補える部分があると思っています。(プレーでは)ディフェンスのプレッシャーのかけ方がすごくいいなと思いました。シュートが入らなければその日によってあるので、もちろんチームとしてもっと確率を上げなくては行けないのですが、ディフェンスのところは毎試合コンスタントにできるところ。そこは2試合ともしっかりやれていると感じました。

—日本代表のストロングポイントは何だと感じていますか？

渡邊 競争心の高い選手が多いですね。選手選考を兼ねていることもあって競争心が試合にも出ていましたし、練習から負けたくないという気持ちでみんな取り組んでいます。そこは今までの日本人には少し足りない部分かなと思っていたので、ストロングポイントといえるほど他の国に比べて競争できてるかといわれたら分からないのですが、競争心は高くなっていると感じます。ただ、これが当たり前というか、これをいかにスタンダードにできるかが今後の日本代表にとって大事だとも感じています。

—プレーにおける日本の強みは？

渡邊 3Pシュートの確率は国際強化試合ではそこまで高くはなかったので、ストロングポイントといえるほどの結果はまだ出ていないと思います。3Pシュートを打っていくことは分かっていることなので、ストロングポイントと言い切れるぐらい僕も含めてみんなが磨いていかないといけないですね。

—このチームにおける渡邊選手の役割は？

渡邊 オールラウンダー的なことをやっていかないといけないと思っています。僕が無理に点を取りに行く必要はないと思うのですが、苦しい時間帯に引張っていくこと。それと、シュート力が高い選手がたくさんいるので、自分がディフェンスを引きつけてパスを出すなど、NBAでやっていることは少し違う役割もあると思います。

—リバウンドでの期待も十分あります。

渡邊 フィジカル面ではどうしても日本は負けてしまうし、そこを相手は絶対に突いてきます。相手のオフェンスを1本で抑えたいときなど、リバウンドは積極的にからんでいきたいです。

世界の強豪国との対戦でも 勝ちにこだわる

—ワールドカップは2回目ですが、どのような印象がありますか？

渡邊 他国の選手も含め、それぞれがプライドをかけて臨む大会で、簡単にいかないことは分かっています。(ワールドカップなどを)経験していない選手も多いので、このチームを8月25日の時点で準備ができていない状態にするためにも自分が引張っていきたいです。前は悔しい思いしかなく、経験を得られたということに関してはポジティブに捉えることはできますが、それ以外は相手に好きなようやられたという印象しか残っていません。

—その悔しさも持っての今大会です。

渡邊 今回も難しい試合になることは分かっている

ますし、普通にやって勝てる相手ではない。簡単に自分たちなら勝てますということを使うつもりはないのですが、しっかり準備をして、そこで自分たちが100%を出し切ることができたら可能性は絶対にあると思っています。

—3試合のSoftBank CUP 2023はファンのみさんも楽しみにしています。

渡邊 強化試合をしながら状態を100%に持っていかねばと思っています。とはいえ強化試合は勝ちに行くので、フランスやスロベニアと格上チームに対して自分たちがファイトする姿を見せたいです。国際強化試合での戦いがワールドカップの応援の熱にも影響すると思っているので、勝敗にもこだわっていきたいです。

—個人としてトライしてみたいことはありますか？

渡邊 個人的にはなく、今はどれだけチームに対してフィットできるかだと思っています。強化試合はワールドカップ直前なので、選手一人ひとりが別々の動きをその段階でやってるようでは手遅れになってしまう。いかにチームとして動けるかが大事だと考えています。ニュージーランド戦もチームにとってすごくいい勉強になったので、その学びをアンゴラ、フランス、スロベニア戦で生かしたいです。

—久しぶりの実戦となります。

渡邊 とても楽しみです。このチームでの試合は初めてですし、昨シーズンもシーズン途中からプレータイムが減ったので、これだけしっかり試合に出るのは相当久しぶり。そういった意味でも楽しみにしています。

わたなべ・ゆうた：1994年10月13日生まれ/206cm・97kg /スモールフォワード/香川県出身/ジョージ・ワシントン大学出身/フェニックス・サンズ所属/大学を卒業後、メンフィス・グリズリーズとツーウェイ契約を締結し、日本人2人目のNBAプレーヤーに。その後は、トロント・ラプターズ、ブルックリン・ネッツで活躍。両チームともに無保証契約のスタートながら実績を残し続け、2023-24シーズンはフェニックス・サンズとシーズン前の本契約を勝ち取った。長身ながら3&Dに優れ、敵身的なブロックに表れる熱いプレーが持ち味。

小2から
バスケット
やってみたい。
頑張らず

ポジションはガード。

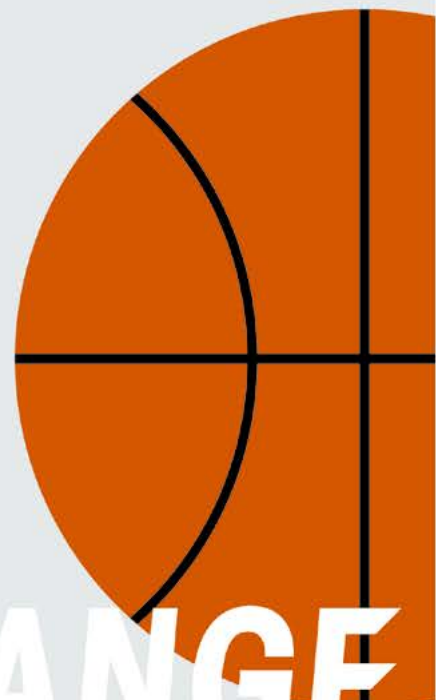
この仕事を
していなかったら、
まだどこかで
バスケットをしていたかも。

バスケットに
教えてもらったことは
いっぱい。
全力で応援
したいと思います。



三井不動産
MITSUI FUDOSAN

TEAM JAPANゴールド街づくりパートナー



▶ **BE THE CHANGE**

富樫 勇樹

Yuki TOGASHI

東京大会を通じて ワールドカップに向けた 総仕上げを

「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」に向けた強化を進める男子日本代表。

長年日本代表を支えてきた富樫勇樹は

強い決意を抱いてワールドカップに出場するという。

「SoftBank CUP 2023 (東京大会)

バスケットボール男子日本代表国際強化試合」に臨む

富樫勇樹にワールドカップへの思いを聞いた。

©バスケットボールキング/伊藤大允



「ヒット・ファースト」を徹底して、 日本のペースで試合が進められるように

——チャイニーズ・タイペイ、韓国、ニュージーランドとの対戦が終わりました。ワールドカップ開幕に向けて、チーム作りは順調ですか？

富樫 全部がうまくいっているわけではありませんが、順調に進んでいると思います。対戦チームの世界ランキングが徐々に上がり、試合の強度やフィジカルの強さが高まっていく中、いろいろな課題と向き合いながら、試行錯誤しながら良いチームになろうと準備を進めています。

——ご自身のコンディションはどうですか？

富樫 めちゃくちゃ良いと思います。日本代表の試合では30分も出るわけではありません。コートに立つ15分から20分間、全力でプレーするだけだと思いますし、ケガなどなく、チームの誰かが欠けないように準備したいですね。

——ワールドカップの開幕戦にコンディションのピークを合わせたいという意識はありますか？

富樫 そうですね。国際強化試合を全力でプレーするのは当然ですが、それでやり切った感じになってしまうのも良くないと言えます。やはり一番大切なのは8月25日のワールドカップの開幕戦なので。そこへどのようにピークを持っていくのかは重要ですが、今は最終ロスターの12名に残るためにみんな練習でも必死に取り組んでいます。何とかケガなく良いチームに仕上げたいと思います。

——ポイントガードとして気をつけている点はありますか？

富樫 もちろん、どのように3Pシュートを打たせるかなど、どのようにオフェンスを組み立てるかという仕事は当たり前です。ただ日本はハーフコートのオフェンスではなかなか点が取れない。その中で何をするかと言えば、やっぱり走ること。そのペースになるのは、攻防の切り替えの際にスピードアップを図ること。それを意識しています。

——そこで重要になってくるのが、トム・ホーバースヘッドコーチが強調する「ヒット・ファースト」ですね。

富樫 そうですね。ニュージーランドとの2試合目を見ればわかると思いますが、相手に体を先に当てられて、全てが一步遅れた感じになりました。なので、まずはこちらから仕掛けることが重要になります。

代表活動の集大成をワールドカップで 不退転の決意で大会に臨む

——今の代表でイチオシしたい選手は誰ですか？

富樫 俺がイチオシって言うのもおかしいですけど、比江島慎選手じゃないでしょうか。チームの最年長で、国際ゲームの経験も豊富で。ここぞというときの信頼は正直僕の中で一番あります。現状、出場時間がとても多いわけではなく、これまでの代表とは立ち位置も変わっていますが、僕の中でマコ(比江島)に対する信頼は人一倍あります。

——比江島選手も危機感を持ってプレーしているように見えます。

富樫 トムさん(ホーバスHC)がみんなをそうさせている部分もあると思います。マコはそもそもそういうタイプの人間ではないというか、見えにくい人なのですが、実は熱いものももちろん持っていて。表情には出しませんが、この大会にける思いが僕には伝わってきます。(渡邊)雄太がこの大会で結果が出なかったら代表を引退するということを言っていますが、それを本当に思っているのは僕とマコだと思います。やっぱり雄太は代わりがない大事な選手であり、雄太がいない日本代表は想像できない。一方、マコが33歳。僕も30歳、これだけ若手の選手が出てきている状況の中、ここで結果が出なかったらこれは世代交代をしなければいけないのではと、僕らが一番感じています。

——改めて、予選1次ラウンドで対戦するチームをどう見えていますか？

富樫 正直に言うと、かなり厳しいグループだと思います。FIBAが発表したパワーランキングでフランスが3位、オーストラリアが4位、フィンランドが11位と、これだけ上位がそろうグループはありません。もちろんそれを理解していますし、だからこそ初戦のドイツ戦が大事だと思います。僕たちが自分たちのバスケができれば相手も守りにくいと思うし、隙を突けるところもある。タフなグループですが、自信を持って臨んでいきます。

——まずはヒット・ファースト、先制攻撃して、相手を慌てさせたいところですね。

富樫 前回2019年のワールドカップの初戦、第1クォーターの序盤にトルコにリードを奪われて、そのまま試合が終わったイメージがありますし、それが世界のレベルだと思います。今のバスケなら2ケタ点差をリードされてもすぐに追いつけますし、実際にニュージーランド戦でも韓国戦でも2、3分で追いついて逆転できました。ただ、やはり出だしは大事です。本当に1試合目の出だし、1試合目は大事だと思います。

——最後に日本代表を応援するファンにメッセージをお願いします。

富樫 有明のアンゴラ、フランス、スロベニアとの3試合は、ワールドカップ直前の試合となります。皆さんにいい試合をして、勝利する姿を見ていただきたいと思っていますし、それがワールドカップに向けた最高の準備になると思っています。まずは全力にプレーをしていろいろな課題と向き合いながら、ワールドカップに挑みます。

とがし・ゆうき：1993年7月30日生まれ/167cm・65kg/ポイントガード/新潟県出身/モントローズ・クリスチャン高校出身/千葉ジェッツ所属/2014年、NBADリーグのテキサス・レジェンズに挑戦。帰国後は、千葉ジェッツで天皇杯3冠やオールスターMVPなど名だたるタイトルを獲得し、Bリーグ日本人初の1億円プレーヤーに上り詰めた。ゲームメイクはもちろんのこと、高確率で沈める外角のシュートやフローターを武器に自ら得点を作り出すことができる。

河村 勇輝

Yuki KAWAMURA

コート上の5人が連動する日本のバスケットを見せたい

「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」に向けた強化を進める男子日本代表。

心配された故障が癒え、いよいよ河村勇輝が初出場を目指すワールドカップに照準を合わせる。

「SoftBank CUP 2023 (東京大会)」

バスケットボール男子日本代表国際強化試合」に臨む河村勇輝に今の思いを聞いた。



バスケット人生初の大きなケガにも自身を見つめ直してパワーアップに専念

—「バスケットボール男子日本代表 国際強化試合 太田大会」では約2カ月ぶりに実戦復帰を果たしました。別メニューでトレーニングをしてきたと聞いていますが、どのような思いで取り組んでいましたか。

河村 特にBリーグが終わり、強化合宿に召集された当時は「早く同じメニューで練習したい」という気持ちが強くありました。ただコートの外からチームメイトが練習する姿を見ているうちに冷静になって、今、自分が何をしなければいけないかを考えるように切り替えられて。振り返れば、パワーアップできたことがかなりあったと思います。

—このような長い期間に離脱はバスケットを始めて初めてでは？

河村 初めてですね。ケガ自体、ほとんどしていませんでした。2カ月も全力でバスケットができないということは、本当に初めてでした。

—ストレスもあったのでは？

河村 最初の方はやっぱりそういうマインドになったり、早くバスケットを思い切りしたいという気持ちはすごくありました。ただ、しっかりと自分の気持ちに向き合えるようになってからは、そこまでストレスはなかったです。逆にいい経験だったと思います。

—成長できた部分は？

河村 筋肉量を増やすトレーニングをしました。やはりコンタクトに対する安心感がありますし、あたりに強くなった実感があります。ただ、単に増やせばいいというわけではないので、そこはトレーナーと相談しながらすすめました。また、細かくチェックしてみると、疲労などから痛みがある箇所もあったので、今後大きなケガにつながる可能性もあるので、こういうところをしっかりとケアできた

のも良かったと思っています。

—もうコンディションは万全ですか？

河村 体調は100%戻りました。あとはゲームの感覚などを取り戻さなければいけないと思いますが、そこは国際強化試合もありますし、練習もあるので、あまり心配はしていません。

—太田大会の初戦、ベンチからコートインしました。何か特別な感情がわきましたか？

河村 試合が始まってベンチにいるときは思った以上に緊張していました。久しぶりの試合への不安もありましたし、ベンチから出ていくのであれば試合を変えなければいけないという緊張感があったのも事実です。また、所属の横浜（ビー・コルセアーズ）では昨季は先発だったので、そわそわしていました。ただ、コートに入った瞬間にはすぐ試合に集中できました。

—第2戦は先発でした。

河村 ティップオフの2分前にいきなりトムさん（ホーバスヘッドコーチ）に言われたのでびっくりしました。動揺はしませんでした。2カ月ぶりに試合をした翌日にしっかり体が動くかなという思いのほうが強かったですね。

ワールドカップ直前の重要な大会 チームの完成度を最終チェック

—東京大会で対戦するアンゴラ、フランス、スロベニアの印象を教えてください。

河村 アンゴラは日本のバスケットに近いというか、アグレッシブなディフェンスが持ち味と聞いています。だからこそ、相対したときにわかることもあると思うので、すごくプラスになると思います。フランスが世界ランキング5位、スロベニアが7位と世界のトップクラスとの対戦です。このようなチームとワールドカップの開幕前に対戦できる不安がないと言ったらウソになりますが、だからこそいい経験にしたいと思います。

—ホーバスHCは予選1次ラウンド初戦のドイツに焦点を合わせた準備を進めていると聞いています。河村選手はデニス・シュルター（トロント・ラプターズ）とマッチアップするイメージはできていますか。

河村 もちろんです。シュルター選手はNBAという最高峰でポイントガードとしてプレーしている選手ですし、そう簡単に止められないと思っています。なので、日本らしく組織的に守ることも大事ですし、コートに立つ5人全員が自分の仕事を遂行することが重要になります。

—最後に有明アリーナに応援に来てくださるファンの皆さんにメッセージをお願いします。

河村 ワールドカップ開幕が間近に控えている中、これまで準備してきたものを完成する時期に来ています。レベルの高い相手に対して、僕たちができることを最大限にファンの皆さんにお見せできればというふうに思います。

—特に期待してもらいたい点は何ですか？

河村 アグレッシブなディフェンスです。フランスやスロベニアとの対戦では、マッチアップするのがビッグガードになると思いますが、身長差は関係ないところをディフェンスで証明できればと思っています。また、オフェンスは自分の持ち味であるペイントアタックにトライして、そこからできるだけいろいろな選手にワイドオープンなシュートを与えられるようゲームを組み立てたいと思います。ぜひ期待してください。

かわむら・ゆうき：2001年5月2日生まれ／172cm・68kg／ポイントガード／山口県出身／東海大学出身／横浜ビー・コルセアーズ所属／三遠ネオフェニックスとの特別指定契約でB1史上最年少出場記録を更新（当時）。東海大学へ進学し実績を残したあとは、横浜ビー・コルセアーズへ入団。プロ契約1年目にして、シーズンMVP、新人賞の同時達成を含む6冠に輝いた。並外れた視野とハンドリングから繰り出されるアシストが魅力。また、激しいオンボールプレッシャーで身長差のある相手から次々にスティールを奪う。

証明しよう。
世界に。自分に。

Beyond 



NIKEアプリで
詳しく見る





フィジカルを生かして ゴール下を中心にアタック

アフリカ屈指の強豪国で“ブラック・アンテロープス”の通称を持つアンゴラにとって、今回のFIBAバスケットボールワールドカップ2023は6大会連続の出場となる。大陸予選ではコートジボワールへの2敗以外は全勝するなど、強さを示した。日本で開催された2006年大会にも出場し、日本からの勝利も含めて3勝をマークして決勝トーナメントに進出。最終結果は9位となり、これが過去最高成績となっている。

30歳以下の選手が2名のみというベテランチームで臨み27位に終わった2019年大会からチームは刷新され、今のチームはずいぶん若返った。唯一のNBA選手であるブルーノ・フェルナンド(アトランタ・ホークス)が中心で、他にはアントニオ・モンテイロなどポルトガルリーグでプレーする好選手が数名いるが、多くは国内リーグに所属している。

PGチルドゥ・ドゥンダウンは身長173cmながら俊敏かつ爆発力のあるプレーをし、アフリカ予選では平均12.1点を記録。6スティール以上を2試合で記録するなどディフェンスにも長ける。



総じて高さがあるわけではないものの、フィジカルさが際立ち、ペイント内からの得点が多い。オフェンスリバウンドも多く、アフリカ予選では全体1位の18.6本をマークしている。一方でターンオーバーは平均16.8本を記録しており、粗さは否めない。

ヘッドコーチは秋田ノーザンハビネッツで指揮経験があり、2023-24シーズンにはB3・横浜エクスセレンスでヘッドコーチに就くスペイン人のペ

ブ・クラロス氏。

ワールドカップの予選ラウンドで開催国・フィリピン、ドミニカ共和国、イタリアと同組のグループAで戦うアンゴラは、日本へ来る前にヨルダンで強化試合を兼ねたヨルダンでの大会に出場しているが、ポルトガル、メキシコ、ヨルダンを相手に全敗している。12日には東京都内で日本代表と10分のミニ練習ゲームを4本行う形式で行い、合計の点数では日本が勝利している。



多彩なタレントを擁して 世界の頂点を目指す

FIBAバスケットボールワールドカップでは過去2大会連続で銅メダルを獲得し、一昨年の東京オリンピックと昨夏のヨーロッパ選手権ではそれぞれ銀メダルを手に入れている。

中核となる選手は同選手権等を通じて大方固まっていたこともあって、FIBAバスケットボールワールドカップ2023への12名のロスターは7月には早々と発表されている。チームの完成度やケミストリーは高く、今回のワールドカップでは当然、金メダルを狙う。

ルディ・ゴベア(ミネソタ・ティンバーウルブズ)やエバン・フォーニエ(ニューヨーク・ニックス)、ニコラ・パトゥーム(ロサンゼルス・クリッパーズ)らNBAでの経験が豊富な選手を複数抱え、NBA勢以外もナンド・デ・コロ(フランスリーグ・アスベル、元NBA)、グーション・ヤブセレ(レアル・マドリード、元NBA)など大半がレベルの高いユーロリーグで戦うチームに所属する。

今回のワールドカップへの出場権を懸けたヨーロッパ予選では2Pシュートの成功率が全体1位の58.1%を記録するなど同6位の平均81.1点と安



定したバスケを展開した。

プレーのベースはハーフコートが中心で特段速くはなく、今回のワールドカップ・ヨーロッパ予選での3Pシュートの試投数は平均21.4本(成功率は35%)と全体で2番目に少なかった。「SoftBank CUP 2023(東京大会)」の直前に行われたリトアニアとの強化試合では、フォーニエを足の故障で欠きながら90-72と快勝を収めている。

残念なのは、今年のNBAドラフトでサンアント

ニオ・スパーズから全体1番目の指名を受けたビクター・ウェンバンヤマが今大会を辞退したこと。ゴベアとのツインタワーが実現していれば、過去にほとんど前例がないほどの異様さを誇っていたはずだ。

ワールドカップの予選ラウンドはグループHに組み込まれカナダ、ラトビア、レバノンという厳しいグループとなった。それでも目が離せないチームであることに変わりはない。



©JBA

FIBAバスケットボールワールドカップ2023 公式試合球 本戦モデル



BG5000

7号球 品番 B7G5000-M3P

希望小売価格

¥16,830 (税抜価格 ¥15,300)

- FIBA(国際バスケットボール連盟)公認
- 天然皮革 ●タイ(生産国)



BG3800

7号球 品番 B7G3800-M3P

希望小売価格

¥6,380 (税抜価格 ¥5,800)

5号球 品番 B5G3800-M3P

希望小売価格

¥6,160 (税抜価格 ¥5,600)

- FIBA(国際バスケットボール連盟)公認
- 人工皮革 ●タイ(生産国)



BG2000

7号球 品番 B7G2000-M3P

希望小売価格

¥2,970 (税抜価格 ¥2,700)

5号球 品番 B5G2000-M3P

希望小売価格

¥2,750 (税抜価格 ¥2,500)

- FIBA(国際バスケットボール連盟)公認
- ゴム ●タイ(生産国)



BG200

ミニボール 品番 B1G200-M3P

希望小売価格

¥2,090 (税抜価格 ¥1,900)

- ゴム ●ベトナム(生産国)

発売元：株式会社モルテン ※店舗により取り扱いのない場合があります。



モルテン公式オンラインショップ販売中！
詳しくは→





ドンチッチを中心とした 驚異的な攻撃が武器

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開幕の前にスロベニアのスーパーstar、ルカ・ドンチッチ(ダラス・マーベリックス)が、沖縄での本戦の前に有明アリーナのコートに立つ。

スロベニアは2017年のヨーロッパ選手権を制しながら2019年のワールドカップへの出場を逃すという屈辱を味わうも、一昨年の東京2020オリンピックでは準決勝まで進出。過去最高順位の4位となった。

同オリンピックで平均100.8得点という驚異的な数字を残したことで示されているが、高いオフェンス力が売りで、FIBAバスケットボールワールドカップ2023ヨーロッパ地区予選でも全体3位となる平均82.8点、2Pの成功率で同5位の54.2%をマークしている。

その個人の力量の高さでNBAでもトップ中のトップの1人として認知されるドンチッチは、今回のワールドカップに出場する最大のスーパーstarと言えるだろう。

スロベニアは「SoftBank CUP 2023(東京大会)バスケットボール男子日本代表国際強化試合」



に先立ってヨーロッパでもエキシビジョンを行っており、ギリシャには98-91で敗れ、続くモンテネグロとの試合では104-100で勝利。ドンチッチはこの両試合でトリプルダブルを記録している。一方、ギリシャとの試合でもう1人のNBA所属選手であるブラッコ・チャンチャー(デンバー・ナゲッツ)が膝の靭帯を断裂し、今大会の欠場を強いられたのはチームにとって打撃だ。また、長年NBAでプレーしてきたゴラン・ドラギッチが出場辞退を表

明し、彼の弟のゾラン・ドラギッチ(ツェデヴィタ・オリンピア、スロベニア)やクレメン・プレベリッチ(バレンシア、スペインリーグ)、213cmで帰化枠のマイク・トビー(ソルヴェナ・ズヴェズダ、セルビア)といった選手らの活躍も、上位進出に向けて必須となる。この他、チームはスペインで同国とアメリカ代表との強化試合もこなしている。

ワールドカップでは沖縄のグループFに入り、ジョージア、カーボベルデ、ベネズエラと対戦する。



充実したロスターを 形成するオセアニアの強国

一昨年の東京2020オリンピックでは、同国オリンピック史上男子初となるバスケ競技で銅メダルを獲得。“ブーマーズ”の愛称を持つ男子オーストラリア代表は今回のFIBAバスケットボールワールドカップ2023でもロスターがさらに充実し、優勝候補筆頭の一角として臨む。

FIBAバスケットボールワールドカップ2023アジア地区予選では、大半を国内組で戦いながらも層の厚さを見せつけながら11勝1敗という圧倒的な戦績を収めた。チームはソン・メイカー(福建スタージャズ、中国リーグ)やマシュー・デラベドバ(メルボルン・ユナイテッド、オーストラリアリーグ)といったNBA経験もある選手を大会前にカットし、若手をより多く残している。

その中で、パティ・ミルズ(アトランタ・ホークス)やジョー・イングルス(オーランド・マジック)といった過去の世界大会の経験豊富なベテラン勢が健在で、そこにジョック・ランデル(ヒューストン・ロケッツ)、ジャック・ホワイト(オクラホマシティ・サンダー)、ジョシュ・グリーン(ダラス・マーベリックス)、ジョシュ・ギディ(オクラホマシティ・サン



ダー)といった中堅、若手が融合する。

NBA選手はアメリカ以外の参加国では最多となる模様。その他にも日本のファンにもおなじみのニック・ケイ(島根ササノオマジック、Bリーグ)も貴重なロールプレーヤーとして存在感を示している。

ワールドカップでは日本と同じグループEとなったオーストラリアは、有明ではフランスと対戦する。今大会でも優勝候補に挙げられる両国によるぶつ

かり合いが日本のファンの眼前で行われることは幸運だ。

オーストラリアの注目選手は、国際大会で抜群の勝負強さを発揮するミルズ。東京2020オリンピックの3位決定戦では42得点でチームの銅メダル獲得に貢献した。また、今大会は203cmのギディが司令塔を務める可能性も高いが、この得点力の高いNBAぎっりの若手成長株のプレーぶりも見ものだ。



Q みえるを広げる

おすすめ記事や機能、
ユーザーエピソード公開中

朝日新聞
DIGITAL

まったく同じ一日はない。だから、今日も新しいニュースを届ける。
まったく同じ人はいない。だから、さまざまな声を発信する。
朝日新聞デジタルは、世の中の出来事を伝えるだけではない。
「多様性」、その生き方や考え方の“違い”を大切に、多くの人へ伝える。
知ることが認め合うきっかけになる、と信じているから。
知ることにより良い未来を描いてほしい、と願うから。
世の中に溢れる誰かの言葉も、情報の真偽も、
さまざまな視点で見て、聴いて、考えて、もがいて、確かなカタチで届けたい。
きょうも、あしたも、伝えたいニュースがある。
今を生きるあなたに役立つ情報を、あなたらしく暮らすために。

朝日新聞デジタル

みえるを広げる。みらいを照らす。

JAPAN

日本代表 (AKATSUKI JAPAN)
SoftBank CUP 2023 (東京大会) 登録メンバー

FIBAランキング
(全体/アジア・オセアニア内)
※2023年2月28日現在

36位/6位

PG
2

CAP



富樫 勇樹 (Yuki TOGASHI)

生年月日: 1993年7月30日
身長: 167cm
所属: 千葉ジェッツ

C
3



ルーク・エヴァンス (Luke EVANS)

生年月日: 1991年3月16日
身長: 203cm
所属: ファイティングイーグルス名古屋

PG
5



河村 勇輝 (Yuki KAWAMURA)

生年月日: 2001年5月2日
身長: 172cm
所属: 横浜ビー・コルセアーズ

SG
6



比江島 慎 (Makoto HIEJIMA)

生年月日: 1990年8月11日
身長: 191cm
所属: 宇都宮ブレックス

SG
18



馬場 雄大 (Yudai BABA)

生年月日: 1995年11月7日
身長: 195cm

SG
19



西田 優大 (Yudai NISHIDA)

生年月日: 1999年3月13日
身長: 190cm
所属: シーホース三河

C/PF
24



ジョシュ・ホーキソン (Josh HAWKINSON)

生年月日: 1995年6月23日
身長: 208cm
所属: サンロッカーズ渋谷

SG
30



富永 啓生 (Keisei TOMINAGA)

生年月日: 2001年2月11日
身長: 188cm
所属: ネブラスカ大学

SF
31



原 修太 (Shuta HARA)

生年月日: 1993年12月17日
身長: 187cm
所属: 千葉ジェッツ

PF
75



井上 宗一郎 (Soichiro INOUE)

生年月日: 1999年5月7日
身長: 201cm
所属: 越谷アルファーズ

SF
91



吉井 裕鷹 (Hirota YOSHII)

生年月日: 1998年6月4日
身長: 196cm
所属: アルバルク東京

C
99



川真田 紘也 (Koya KAWAMATA)

生年月日: 1998年6月16日
身長: 204cm
所属: 滋賀レイクス

STAFF



HEAD COACH

トム・ホバス (Tom HOVASSE)

公益財団法人日本バスケットボール協会

チームリーダー

清水 良規 (Yoshinori SHIMIZU)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アシエイトヘッドコーチ

コーリー・ゲインズ (Corey GAINES)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントコーチ

勝久 ジェフリー (Geoffrey KATSUJISA)

川崎アレイブサンダース

アシスタントコーチ

佐々 宜央 (Norio SASSA)

宇都宮ブレックス

スポーツパフォーマンスコーチ

佐藤 晃一 (Koichi SATO)

公益財団法人日本バスケットボール協会

スポーツパフォーマンスコーチ

緒方 博紀 (Hiroki OGATA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレチックトレーナー

一柳 武男 (Takeo ICHIYANAGI)

公益財団法人日本バスケットボール協会

サポートアスレチックトレーナー

古澤 美香 (Mika FURUSAWA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

テクニカルスタッフ

富山 晋司 (Shinji TOMIYAMA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

サポートテクニカルスタッフ

磯野 真 (Makoto ISONO)

長崎ヴェルカ

チームマネージャー

西村 拓也 (Takuya NISHIMURA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

サポートスタッフ

大木 瀬音 (Seoto OKI)

公益財団法人日本バスケットボール協会

第18回 日経IR・個人投資家フェア

投資のヒントと成長企業に出会える2日間

2023.9.1(金) ▶ 2(土)

10:00 ▶ 17:00 9/18(月・祝)までOnlineでアーカイブ公開

リアルとオンラインのハイブリッド開催

リアル展示場：東京ビッグサイト

西2ホール

オンライン会場：日経オンライン会場

入場無料
[登録制]

事前登録・最新情報は

<https://adnet.nikkei.co.jp/a/ir/>



または



リアル・オンライン展示場参加の流れ

事前登録

基本情報を入力して登録

登録した情報は出展社ブースページでの名刺交換に利用されます。

登録完了

登録したメールアドレスに確認メールが届きます。メール内のURLをクリックし、登録を完了してください。

リアル・オンラインで参加

ログイン

登録後、講演会、会社説明会の予約や、予約状況の確認が可能です。

リアル・オンライン展示場入場

リアル展示場来場の方は、ログイン後、マイページより来場証をプリントアウトして会場にお持ちください。オンライン展示場は9月1日(金)10:00~よりご入場いただけます。

見・ど・こ・ろ

著名人や専門家による経済や株式投資の講演会が充実!



伊藤 邦雄氏



片山 さつき氏



翁 百合氏



木野内 栄治氏

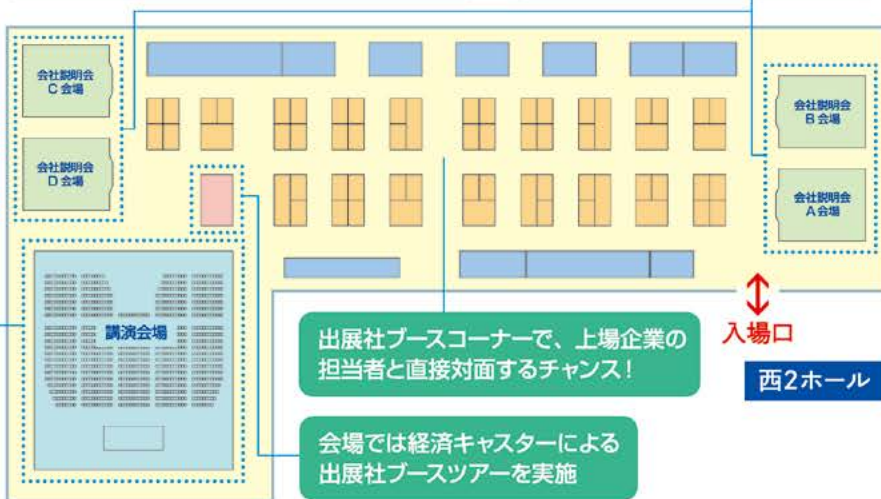


尾河 真樹氏

ほか多数

株主優待紹介コーナーや、抽選会、スタンプラリーをはじめとした各企画コーナーを設置

会社説明会でトップによるIRプレゼンテーションをチェック!



出展社ブースコーナーで、上場企業の担当者と直接対面するチャンス!

会場では経済キャスターによる出展社ブースツアーを実施

↑ ↓
入場口

西2ホール

ANGOLA アンゴラ代表

FIBAランキング
(全体/アフリカ内)
※2023年2月27日現在

41位/4位



Eduardo FRANCISCO

生年月日: 2003年11月5日
身長: 201cm



Gerson DOMINGOS

生年月日: 1996年4月16日
身長: 176cm



José MACONDA

生年月日: 2001年11月7日
身長: 186cm



Gerson GONÇALVES

生年月日: 1996年3月29日
身長: 194cm



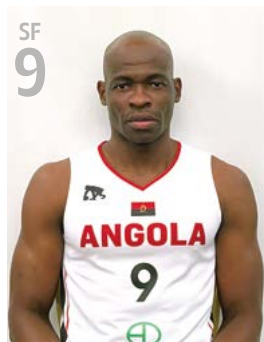
Childe DUNDÃO

生年月日: 1998年5月17日
身長: 173cm



Jilson BANGO

生年月日: 1999年5月27日
身長: 205cm



Leonel PAULO

生年月日: 1986年4月30日
身長: 195cm



Antonio MONTEIRO

生年月日: 1989年4月27日
身長: 204cm



Teotónio DÓ

生年月日: 1994年3月20日
身長: 205cm



João FERNADES

生年月日: 1992年12月1日
身長: 199cm



Abou GAKOU

生年月日: 1997年5月27日
身長: 202cm



Bruno FERNANDO

生年月日: 1998年8月15日
身長: 205cm



Silvio SOUSA

生年月日: 1998年10月7日
身長: 203cm



Kevin KOKILA

生年月日: 2001年9月3日
身長: 203cm



Milton VALENTE

生年月日: 1998年9月28日
身長: 197cm

STAFF



HEAD COACH

Pep CLARÓS

Assistant Coach
Anibal MOREIRA

Assistant Coach
Miguel LUTONDA

Assistant Coach
Carlos UZAL

Doctor
Jorge GONZALEZ

Physiotherapist
Antonio MANUEL

Physiotherapist
Alexander AFONSO

Equipment
Pova FRANCISCO

President
José SILVA

Head of Delegation
Silvio LEMOS

Vice President
Pedro MANUEL

Manager
Luis COSTA

Manager
Mário ABILIO



すべてを突破する。

TOPPAN!!!
TOPPAN

FRANCE フランス代表

FIBAランキング
(全体/ヨーロッパ内)
※2023年2月27日現在

5位/2位

SG/PG
0



Etie OKOBO
生年月日: 1997年10月23日
身長: 191cm

PG
00



Sylvain FRANCISCO
生年月日: 1997年10月10日
身長: 179cm

SF/PF
5



Nicolas BATUM
生年月日: 1988年12月14日
身長: 203cm

PF/C
7



Guerschon YABUSELE
生年月日: 1995年12月17日
身長: 203cm

SG/SF
10



Evan FOURNIER
生年月日: 1992年10月29日
身長: 199cm

PG/SG
12



Nando DE COLO
生年月日: 1997年6月23日
身長: 196cm

C
17




Vincent POIRIER
生年月日: 1993年10月17日
身長: 213cm

SG
22



Terry TARPEY
生年月日: 1994年3月24日
身長: 196cm

SG
24




Yakuba OUATTARA
生年月日: 1992年1月24日
身長: 192cm

C
27



Rudy GOBERT
生年月日: 1992年6月26日
身長: 216cm

SG
30



Isai'a CORDINIER
生年月日: 1996年11月28日
身長: 197cm

PF/C
39



Yoan MAKOUNDOU
生年月日: 2000年8月9日
身長: 207cm

C
93



Moustapha FALL
生年月日: 1992年2月23日
身長: 218cm

STAFF



HEAD COACH
Vincent COLLET

Assistant Coach
Pascal DONNADIEU

Assistant Coach
Ruddy NELHOMME

Video Analyst
Bryan GEORGE

Physical Trainer
Manuel LACROIX

Player Development
Benoit GOMIS

Doctor
Geoffrey WANDJI

Physiotherapist
Serge KRAKOWIAK

Physiotherapist
Nicolas BARTH

Osteopath
Benoit MAHIEU

Osteopath
Fabrice GAUTIER

General Manager
Boris DIAW

Assistant General Manager
Yann BARBITCH

三井住友信託銀行は、
バスケットボール日本代表を応援しています。



**AKATSUKI
JAPAN**



© シンジル & タクセル



SLOVENIA

スロベニア代表

FIBAランキング
(全体/ヨーロッパ内)
※2023年2月27日現在

7位/4位



Žiga SAMAR
生年月日: 2001年1月26日
身長: 198cm



Aleksej NIKOLIĆ
生年月日: 1995年2月21日
身長: 191cm



Klemen PREPELIČ
生年月日: 1992年10月20日
身長: 191cm



Mike TOBEY
生年月日: 1994年10月10日
身長: 213cm



Jaka BLAŽIČ
生年月日: 1990年6月30日
身長: 196cm



Gregor HROVAT
生年月日: 1994年8月18日
身長: 196cm



Žiga DIMEC
生年月日: 1993年2月20日
身長: 211cm



Zoran DRAGIČ
生年月日: 1989年6月22日
身長: 196cm



Bine PREPELIČ
生年月日: 2001年8月5日
身長: 200cm



Gregor GLAS
生年月日: 2001年4月29日
身長: 190cm

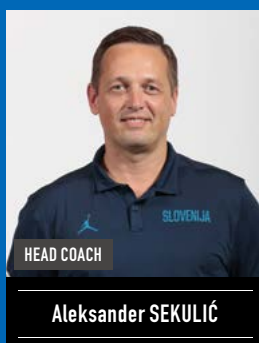


Jakob ČEBAŠEK
生年月日: 1991年4月28日
身長: 200cm



Luka DONČIČ
生年月日: 1999年2月28日
身長: 201cm

STAFF



HEAD COACH

Aleksander SEKULIĆ

Assistant Coach
Dalibor DAMJANOVIĆ

Assistant Coach
Dejan MIHEVC

Assistant Coach
Luka BASSIN

Trainer
Anže MAČEK

Doctor
Marko MACURA

Doctor
Branko CVETIČANIN

Physiotherapist
Luka MIRNIK

Physiotherapist
Borut ČERNILOGAR

Head of Delegation
Marko MILIČ

Director of National Team
Matej LIKAR

Technical Manager
Andrej RAUH

PR Manager
Grega BREZOVEC

 NICHIBAN



**AKATSUKI
JAPAN**



NICHIBAN

ニチバンは JBA / バスケットボール日本代表のオフィシャルサプライヤーです



©JBA



AUSTRALIA

オーストラリア代表

FIBAランキング
(全体/アジア・オセアニア内)
※2023年2月27日現在

3位/1位

G
1



Dyson DANIELS
生年月日: 2003年3月17日
身長: 201cm

G/F
2



Matisse THYBULLE
生年月日: 1997年3月4日
身長: 196cm

G
3



Josh GIDDEY
生年月日: 2002年10月10日
身長: 203cm

SG
4



Chris GOULDING
生年月日: 1998年10月24日
身長: 192cm

G
5



Patty MILLS
生年月日: 1998年7月11日
身長: 183cm

G
6



Josh GREEN
生年月日: 2000年11月16日
身長: 196cm

G/F
7




Joe INGLES
生年月日: 1987年10月2日
身長: 203cm

F
9



Xavier COOKS
生年月日: 1995年8月19日
身長: 203cm

G
11



Dante EXUM
生年月日: 1995年7月13日
身長: 198cm

F
14




Jack WHITE
生年月日: 1997年8月5日
身長: 201cm

F
15



Nick KAY
生年月日: 1992年8月3日
身長: 206cm

C
26



Duop REATH
生年月日: 1996年6月26日
身長: 211cm

STAFF



HEAD COACH
Brian GOORJIAN

Assistant Coach
Matt NIELSEN

Assistant Coach
David PATRICK

Assistant Coach
Adam CAPORN

Assistant Coach
Jacob CHANCE

Head of Delegation
Jan STIRLING

Director of National Team
Jason SMITH

Team Manager
Albert VIRANATULEO

Team Doctor
Brendon AUBREY

Lead Physiotherapist
David HILLARD

Physiotherapist
Ryan CARROLL

Strength & Conditioning Coach
Karl TROUNSON

Head of Media
Jo JULER



AKATSUKI JAPAN plus⁺

バスケットボール日本代表 公式 FUN サイト

新規入会受付中!!

入会は
こちら



AKATSUKI JAPAN plus⁺は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ

AKATSUKI JAPAN plus⁺に入会すると!



チケット

AKATSUKI JAPANの国内全試合やJBA主催試合[※]のチケットをどこよりも早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。



映像・音声コンテンツ



豪華ゲストを迎えたオリジナルポッドキャスト番組「WJUNのショックスマッシュハーフタイム」や代表選手へのインタビュー映像などを配信!



会員限定コンテンツ



毎月更新のAKATSUKI JAPAN 男女のカレンダー、限定コラム、また AKATSUKI JAPAN になりきり、ブロックショットを次々と決めゴールを守るオリジナルゲーム「Block it Out!!」などここでしか得られない会員限定コンテンツを配信!



メルマガ登録受付中

AKATSUKI JAPAN plus⁺にてメールマガジンの登録をすると、バスケットボール日本代表に関する「AKATSUKI JAPAN plus⁺メールマガジン」を受信できます!是非登録してみてください。



AKATSUKI JAPAN plus⁺ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。

<http://akatsukijapanplus.jp>

アカツキジャパンプラス 🔍



AKATSUKI JAPAN 公式オンラインショップ

バスケットボール日本代表の公式グッズを通販でご購入いただけます!

https://akatsukijapanplus.jp/online_shop/





※ 出場予定選手

チケット / 大会情報は [こちら](#) ▶





AKATSUKI JAPAN 日本一丸!! アカツキジャパンに熱い声援を送ろう!!



日本一丸



AKATSUKI JAPAN



キャップ
ストレート、カーブ 各3,900円(税込)
サイズFREE

日本一丸ロゴ入り!!

スローガングッズ

Tシャツ 3,900円(税込)
サイズ S, M, L, XL

タオル 2,500円(税込)
アクリルキーホルダー 900円(税込)

ベアキーチェーン 1,900円(税込)
クリアツインメガホン 1,200円(税込)

クリアファイル 500円(税込)



●カラーラインナップ

14色カラー
チェンジ

ペンライト 2,800円(税込)



ドライTシャツ 3,900円(税込)
サイズ XS, S, M, L, XL, 2XL



トートバッグ 3,000円(税込)



ジムサック 2,500円(税込)




AKATSUKI JAPAN

Y. WATANABE
12

推しの選手は誰??

プレイヤーズグッズ

N&N Tシャツ 3,900円(税込)
サイズ S, M, L, XL, 2XL

フェイスタオル 2,500円(税込)
アクリルキーホルダー 900円(税込)



AKATSUKI JAPAN

渡邊雄太
12 Y. WATANABE

どの選手が出るかお楽しみ!!

シークレットグッズ

全17選手

Y. WATANABE
12

アクリルキーホルダー 700円(税込)

缶バッジ 500円(税込)

AKATSUKI JAPAN
公式グッズオンラインストア



公式オンラインストアではグッズ売場で売っていない選手のアイテムが販売しているアイテムがございます。ぜひチェックしてください。

場外売場
販売予定選手

Tシャツ、アクリルキーホルダー展開予定選手
#2 富樫 勇樹、#5 河村 勇輝、#6 比江島 慎、#7 テープス 海、
#12 渡邊 雄太、#13 金近 康、#17 須田 侑太郎、#18 馬場 雄大、
#19 西田 優大、#24 ジョシュ・ホーキンソン、#30 富永啓生

フェイスタオル展開予定選手
#2 富樫 勇樹、#5 河村 勇輝、#7 テープス 海、#12 渡邊 雄太、#13 金近 康、
#17 須田 侑太郎、#18 馬場 雄大、#19 西田 優大、#24 ジョシュ・ホーキンソン、#30 富永啓生、
#31 原修太、#34 渡邊 飛勇、#43 永吉佑也、#75 井上 宗一郎、#91 吉井裕磨、#99 川真田 誠也



AKATSUKI OFFICIAL STORE
JAPAN

A Fanatics Experience

場外グッズ売場にて販売中!!